

川崎医科大学市民公開講座

「疾病制圧に向けた大学の挑戦」

10月12日(日)午前10時から、川崎医科大学校舎棟 M-911教室にて市民公開講座が開催されました。平成24年度から川崎医科大学では市民公開講座を開催しており、今回で第3回となりますが、川崎医科大学で行われている最先端の研究の内容を一般市民の方にもご理解いただくために、開催されているものです。本年度は、平成24年度の文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業として採択された研究プロジェクトの内容を中心として、中皮腫・肺

がんについて、一般の方にもわかりやすい内容で紹介されました。最初に、衛生学 大槻剛巳教授および総合外科学 深澤拓也講師による「アスベストによるがん（中皮腫）の起こり方と治し方」、次に、呼吸器外科学 清水克彦准教授による「肺がん治療～最新の話」と正しい情報選択」の講演があり、講演終了後は、「研究者と話そう－Meet the Researcher」と題し、大槻教授、清水准教授、深澤講師を囲んで、参加者と先生方で、様々な質問や健康につ



いての話が交わされました。計38名の方にご来場いただき、参加者からは、「先生方が、熱心に取り組んでおられる姿に感謝いたします。ありがたく思いました。当病院にかかっている良かったです」「図表、統計等、大変わかりやすく良かったです。また、よろしくをお願いします」「アスベスト自体の説明もあり、非常にわかりやすく良かったです」等の感想をいただきました。

(研究支援係)



BioJapan 2014へのブース出展

医科学研究からのイノベーション創生に向けて

川崎医科大学は、産学連携活動を円滑・適切に展開するために東京医科歯科大学が中心となって設立された全国医学系大学の産学連携部門のネットワーク「医学系大学産学連携ネットワーク協議会（medU-net）」に平成23年度から会員として参画しています。当初3年間の文科省支援事業の後、今年度からは会費制となり、情報収集とともに



に学内への周知などにも精力的に取り組んでいます。

今回、10月15日(水)～17日(金)、パシフィコ横浜で開催された16回目を数える展示会「BioJapan 2014」に、medU-netの会員用ブース出展として参画しました。BioJapanには、バイオクラスター&ベンチャーを中心としたビジネスパートナーリングを基軸に国内外から25ヶ国の国・地域を越えて600社以上の参加がありました。ここでは、30分間の口頭プレゼンテーション枠、出展者情報に基づくマッチング企業との情報交換などができるもので、本学からは情報収集と学内広報を目的として、産学官連携担当者 生化学 山内准教授と衛生学 大槻教授が参加しました。大槻教授は平成23年にも産学官連携学長補

佐として、単独ブース・ポスターのみの出展参加の経験があり、今回のブース出展には、衛生学が展開するシーズを紹介しました。今回紹介したシーズに興味を持たれる会社があり、情報交換もできました。医科学研究からのイノベーション創生は国の成長戦略としても重要で、今後も研究シーズの紹介や産学連携事業の開発に向けて出展を促していく事となっています。



(庶務課)